

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方法

中学校国語

【領域】

■「言葉の特徴や使い方に対する事項」の平均正答率

・全国平均と同程度だが、やや下回る。

■「情報の扱い方に関する事項」の平均正答率

・全国平均を下回っている。

■「我が国の言語文化に関する事項」の平均回答率

・全国平均を上回っている。

■「話す・聞く」の平均正答率

・全国平均と同程度である。

■「書く」の平均正答率

・全国平均を上回っている。

■「読む」の平均正答率

・全国平均を下回っている。

●文脈に即して正しく漢字を書くこと。

●意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。

●時間の経過による言葉の変化について理解すること。

●必要に応じて質問しながら話の内容を捉えること。

●目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。

●文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること。

○必要に応じて辞典を活用し、漢字のもつ意味に留意しながら文脈に即して実際に漢字を正しく用いる活動の充実。

○根拠の信頼性や客観性、意見と根拠のつながりを明確するなど、根拠の適切さを吟味する活動の充実。

○言葉の由来や成り立ちについて理解を深め、適切に言葉の意味を捉える活動の充実。

○質問するために必要な語彙力を身に付け、自分の考えとの共通点や相違点を整理しながら話し合う活動の充実。

○集めた情報から目的に合ったものを精査して取捨選択し、その情報の妥当性などについて他者との対話を通して理解を深める活動の充実。

○文章と図表との対応を整理しながら、図表が果たしている役割や効果について確かめる活動の充実。

本校の概要

今回の調査における課題

改善の方法

中学校数学

【領域】

- 「数と式」の平均正答率
  - ・全国平均を下回っている。
  
- 「図形」の平均正答率
  - ・全国平均を下回っている。
  
- 「関数」の平均正答率
  - ・全国平均を下回っている。
  
- 「データの活用」の平均正答率
  - ・全国平均を下回っている。
  
- いずれの領域においても、無回答の割合が全国平均よりやや低くなっている。

- 連続する二つの偶数を文字を用いて表現したり、等式を目的に応じて変形したりすること。
  
- 平面図形における回転移動について理解したり、筋道を立てて証明したりすること。
  
- 式とグラフの特徴を関連付けて理解することや、事象を数学的に解釈して説明すること。
  
- 事象から確率を求めることや、データの分布や四分位範囲を比較することなどから傾向を適切に読み取ること。

- 文字を用いて式を表すことや、方程式などの基本的な知識技能の習熟を目指す活動の充実
  
- 平面図形における移動の基礎知識や、根拠となる事柄を適切に用いて、順序立てて証明する活動の充実
  
- 関数の式とグラフの基礎知識の確認や、身近な例から関数関係を見出して考察する活動の充実
  
- 簡単な確率を求めたり、データの分布や四分位範囲などを分析し、数学的な表現を用いて説明したりする活動の充実

# 令和6年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙について

札幌市立南が丘中学校

## 1. 当てはまる 2. どちらかといえば当てはまる の回答 (%) の合計と全国との比較

### 全国平均より上回っている主なもの

| 質 問 事 項  | 本校%  | 全国%  | 差%    |
|--|------|------|-------|
| ◇健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てていますか。    | 79.2 | 76.7 | +2.5  |
| ◇先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。                                | 92.8 | 90.4 | +2.4  |
| ◇自分と違う意見について考えるのは楽しい。                                      | 79.2 | 76.2 | +3.0  |
| ◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う。            | 81.3 | 79.0 | +2.3  |
| ◇授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。       | 94.8 | 92.3 | +2.5  |
| ◇総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。 | 86.5 | 82.2 | +4.3  |
| ◇道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。            | 93.8 | 91.7 | +2.1  |
| ◇国語の勉強は好きだ。  | 75.0 | 64.3 | +10.7 |
| ◇国語の勉強は大切だ。  | 95.9 | 93.9 | +2.0  |
| ◇国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つ。                            | 92.7 | 90.6 | +2.1  |
| ◇国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。     | 82.3 | 78.7 | +3.6  |
| ◇国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結びつけて考えをまとめている。              | 84.4 | 80.5 | +3.9  |
| ◇国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。                    | 83.3 | 76.7 | +6.6  |
| ◇英語の授業を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。             | 87.5 | 83.3 | +4.2  |
| ◇英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。                | 89.6 | 85.6 | +4.0  |
| ◇スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表が行われていたと思う。                 | 90.6 | 82.4 | +8.2  |

生活・行動面においては健康教育や自己肯定感、批判的思考、実践的学び、協力的な姿勢を育む環境を提供することができていることがうかがえます。今後もこの流れを維持しながら、より良い学びの場の充実を目指し、学ぶ力の育成を図っていきます。

総合的な学習の時間や道徳の授業については、肯定的な回答の割合が高く、自己管理能力やコミュニケーション能力を向上させる良い機会となっていると考えられます。今後も取組を継続し、多様な学びの場を提供することで、生徒の学びと成長をさらに支援していきます。

国語や英語の学習項目に関する質問では肯定的な回答が全国平均を上回っている項目が多いです。この状態を更に発展させられるよう、少人数指導・TT指導等の指導の工夫・改善に努めるなど、実効性のある指導を進めていきます。

## 全国平均より下回っている主なもの

| 質 問 事 項   | 本校   | 全国   | 差     |
|---|------|------|-------|
| ◆将来の夢や目標を持っている。                                     | 61.4 | 66.3 | -4.9  |
| ◆数学の勉強は好きだ。   | 43.8 | 57.2 | -13.4 |
| ◆数学の授業の内容はよく分かる。                                    | 60.4 | 75.7 | -15.3 |
| ◆数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。                  | 45.8 | 57.2 | -11.4 |
| ◆数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える。              | 63.5 | 78.1 | -14.6 |
| ◆数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。                       | 37.5 | 46.0 | -8.5  |
| ◆理科の勉強は好きだ。   | 44.8 | 68.3 | -23.5 |
| ◆自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ちたり問題を見いだしたりすることがある。 | 67.7 | 70.7 | -3.0  |
| ◆理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。                   | 59.4 | 71.5 | -12.1 |

現在、将来の夢や目標を持っている本校の中学3年生は61.4%ですが、この状況は生徒たちが自己発見の過程にあり、目標を見つけるための探求をしている証でもあります。残りの39.6%の生徒たちもまた、これからの時間を使って自分の興味や情熱を見つけ出すチャンスをもっています。夢や目標は、いつでも変わりうるものであり、成長する過程で新しい目標が見えてくることもあります。現在の多様な価値観や経験が育まれる環境は、将来的にもっと多様な夢を持つ仲間が増えることにつながります。自分のペースで進んでいくことが大切です。

また、数学や理科の学習項目に関する質問では肯定的な回答が全国的に低い値を示していますが、本校ではさらに下回っている状況です。生徒の興味や理解を引き出し、実生活との関係に気づけるような授業の改善・工夫が必要です。教師が生徒の意見を反映し、より魅力的で参加型の授業を作り上げることが求められます。学習意欲の育成、探究的な授業の推進、実験を通じた学びの強化などを重点にした学習指導を推進していきます。

以上の結果に合わせて、11月に実施予定の学校評価アンケートの結果も加味しながら、今後の本校の教育活動に生かしたいと考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。